

# 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 ULSグループ株式会社 上場取引所 東

コード番号 3798 URL https://www.ulsgroup.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)横山芳成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高橋敬一 TEL 03-6220-1416

配当支払開始予定日 – 決算補足説明資料作成の有無: 無 決算説明会開催の有無: 無

百万円未満切捨て

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に 四半期純	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
2026年3月期第1四半期	3, 804	33. 4	894	23. 6	894	23. 6	582	24. 2		
2025年3月期第1四半期	2, 851	19. 9	723	28. 5	723	28. 4	469	27. 6		

(注)包括利益 2026年3月期第1四半期 591百万円 (22.9%) 2025年3月期第1四半期 481百万円 (26.1%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	105. 90	101. 99
2025年3月期第1四半期	85. 26	84. 80

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	12, 843	10, 775	78. 2	1, 825. 75
2025年3月期	13, 570	10, 479	72. 2	1, 780. 15

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 10.043百万円 2025年3月期 9.792百万円

# 2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
2025年3月期	_	0.00	_	60.00	60.00		
2026年3月期	_						
2026年3月期(予想)		0.00	-	71.00	71.00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	15, 900	20. 4	3, 100	18. 2	3, 100	17. 5	1, 950	19. 2	354. 47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は年次で業績管理を行っているため、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載は省略しております。

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更:無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料 P. 6 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記 事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
① ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1	6. 228. 800株	2025年3月期	6. 228. 800株	
Q	0, ZZO, 000株 I	2025年3月期	0, 220, 000杯 I	
2026年3月期1	727. 662株	2025年3月期	727. 662株	
Q	727, 002称 I	2020年3月朔	727,002称 I	
2026年3月期1	5, 501, 138株	2025年3月期1	5, 501, 138株	
Q	5, 501, 1301末 1	Q	5,501,1301末 1	

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー:無
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1.	経常	営成績等の概況	2
	(1)	当四半期の経営成績の概況	2
	(2)	当四半期の財政状態の概況	2
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四当	半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1)	四半期連結貸借対照表	3
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
		四半期連結損益計算書	4
		四半期連結包括利益計算書	5
	(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
		(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
		(セグメント情報等の注記)	6
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
		(継続企業の前提に関する注記)	6
		(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

#### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中東・ウクライナ情勢や米国の関税政策等、様々なリスク要因はあるものの、好調な企業業績や良好な雇用環境の継続、積極的な賃上げの持続と賃上げ分の価格転嫁の進展により、本格的なインフレ経済に向け回復基調を維持しております。

当社グループの事業ドメインであるDX(デジタルトランスフォーメーション)コンサルティング市場においては、6月日銀短観の2025年度設備投資計画等における大企業全産業のソフトウェア投資額が前年度比10.2%増加に拡大するなど、2025年度もDXを推し進める企業を中心にIT投資の拡大基調が見込まれております。

このような経営環境の下、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高3,804百万円(前年同期比33.4%増)営業利益894百万円(前年同期比23.6%増)経常利益894百万円(前年同期比23.6%増)

親会社株主に帰属する

582百万円 (前年同期比24.2%増)

四半期純利益

#### 当第1四半期連結累計期間の業績において特筆すべき事項は以下のとおりです。

#### ①売上高

売上高は、前年同期比953百万円増加(33.4%増)の3,804百万円となり、第1四半期連結累計期間としては過去最高を更新しました。サービス、情報通信、金融、自治体、製造等を中心とする既存顧客からの旺盛な需要が継続したこと、またコンサルタントの採用活動が概ね順調に推移したことが主な要因です。

#### ②採用面

コンサルタント数(注)は643名となり、前連結会計年度末比33名増加(5.4%増)、前年同期末比79名増加(14.0%増)となりました。

コンサルタントを含む当社グループ全体の従業員数は735名となり、前連結会計年度末比42名増加(6.1%増)、前年同期末比98名増加(15.4%増)となりました。

(注) コンサルタント数・・・コンサルティング事業に携わるコンサルタント数(当社グループへの出向者を含み、当社グループ外への出向者を含まないコンサルタントの人数)

③販売費及び一般管理費、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益

販売費及び一般管理費は、マネジメント層や管理部門の増員に伴う人件費の増加、営業強化及びブランディング施策による販売促進費や広告宣伝費の増加により、709百万円(前年同期比38.3%増)となりました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、販売費及び一般管理費が前年同期比38.3%増加したものの、売上高が前年同期比33.4%増加したことに加え、単価・稼働・品質管理を徹底したことから、それぞれ894百万円(前年同期比23.6%増)、894百万円(前年同期比23.6%増)、582百万円(前年同期比24.2%増)となり、第1四半期連結累計期間としてはいずれも過去最高を更新しました。

#### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、主に前連結会計年度末の売掛金及び契約資産の回収により、前連結会計年度末比5.4%減少の12,843百万円となりました。

負債は、主に前連結会計年度末の未払法人税等の支払いや賞与の支払いにより、前連結会計年度末比33.1%減少の2,068百万円となりました。

純資産は、主に当第1四半期連結累計期間に係る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末比2.8%増加の10,775百万円となりました。

### (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績はほぼ計画通りとなっており、現時点では2025年5月9日に公表しました業績予想に変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

資本剰余金

利益剰余金

自己株式 株主資本合計

新株予約権

純資産合計

負債純資産合計

非支配株主持分

その他の包括利益累計額

その他有価証券評価差額金

その他の包括利益累計額合計

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7, 137	8, 01
売掛金及び契約資産	4, 847	3, 01
仕掛品	_	
その他	115	15
流動資産合計	12, 100	11, 19
固定資産	·	
有形固定資産	166	34
無形固定資産		
のれん	47	4
その他	5	
無形固定資産合計	53	Ę
投資その他の資産		
投資有価証券	461	45
その他	789	79
投資その他の資産合計	1, 250	1, 25
固定資産合計	1, 470	1, 65
資産合計	13, 570	12, 84
負債の部		
流動負債		
未払金	387	36
未払費用	555	41
賞与引当金	867	27
受注損失引当金	46	2
未払法人税等	709	31
その他	524	67
流動負債合計	3, 091	2, 06
負債合計	3, 091	2, 06
英資産の部	_	,
株主資本		
資本金	877	87
w		

1,283

8,713

9,781

11

11

389

297

10, 479

13, 570

△1, 093

1,283

8,966

△1,093

10,034

9

9

423

307

10,775

12,843

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(四半期連結損益計算書)		
		(単位:百万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2, 851	3, 804
売上原価	1,614	2, 200
売上総利益	1, 236	1,604
販売費及び一般管理費	513	709
営業利益	723	894
営業外収益		
その他	0	0
営業外収益合計	0	0
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	723	894
特別利益		
新株予約権戻入益	0	<u> </u>
特別利益合計	0	_
税金等調整前四半期純利益	723	894
法人税等	245	301
四半期純利益	477	593
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	469	582

# (四半期連結包括利益計算書)

(四十朔连州 巴加州亚川 茅首)		
		(単位:百万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	477	593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	$\triangle 1$
その他の包括利益合計	3	△1
四半期包括利益	481	591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472	580
非支配株主に係る四半期包括利益	8	10

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用 後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

#### (セグメント情報等の注記)

#### 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日) 当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日) 当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	14百万円	23百万円
のれんの償却費	3百万円	2百万円